

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	22127
科題名	大学病院で分娩した単胎妊婦における緊急帝王切開のリスク因子
研究期間	実施許可日 ～ 2023年 12月 31日
研究の対象	2020年1月～2021年12月に当院で分娩した単胎妊婦の方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：病歴、妊娠・分娩歴、母体年齢、身長・体重、不妊治療の種類、治療歴、児の病歴等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	帝王切開はその緊急度により予定帝王切開と緊急帝王切開に分類されます。緊急帝王切開は分娩進行中に経膈分娩が難しいと判断される場合や母体および児の生命危機となった場合に行われます。例えば、分娩停止、胎児機能不全、常位胎盤早期剥離などが適応です。帝王切開は徐々に増加傾向であり、厚生労働省の発表によると2020年には全分娩の27.4%が帝王切開での分娩となっています。一般的に高年妊娠、初産、肥満、妊娠高血圧症候群、分娩誘発などが緊急帝王切開のリスクであるとの報告がありますが、実際に当院で分娩した妊婦さんの中で緊急帝王切開となった方はどのようなリスクを持っていたかを調査します。
研究の方法	本研究は、2020年1月～2021年12月の期間に当院で分娩した単胎妊婦さんを対象とし、診療記録の情報を用いて行われます。調査するリスク項目は、妊婦さんの年齢が35歳以上の方、経産婦さん、非妊時体格指数(BMI)が25.0 kg/m ² 以上の方、身長が150cm以下の方、妊娠糖尿病の方、妊娠高血圧症候群の方、胎児発育不全、分娩誘発を行った方、精神疾患合併の方とします。当院で経膈分娩を予定していた妊婦さんの中で分娩方法が経膈分娩となった方と緊急帝王切開となった方を比べて、上記のリスクの中で、どのリスクと緊急帝王切開に関連があったかを検討します。
その他	特記事項はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：北海道旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 番 1 号 旭川医科大学 産婦人科学講座

電話：0166-68-2562

担当者氏名：酒井 美穂

研究責任者：旭川医科大学産婦人科学講座 酒井 美穂